

環境活動レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

2024 年 6 月～2025 年 5 月

株式会社 鈴木油脂
環境事業部

環境マネジメント活動の歩みと今後の取り組み

当社は ISO14001 に基づく環境マネジメント活動に取り組み、17 年が経過しました。
今後も継続的な改善と地域・環境への貢献を目指します。
本報告書では、当社の 2024 年度の取り組み内容をご紹介します。ぜひご一読ください。



目次

代表者メッセージ・会社概要.....	1
組織図 ・ ISO 認証取得.....	2
基本理念と環境方針	3
2024 年度の環境目標	4
2024 年度の活動実績	5・6
2024 年度の主な環境活動トピック	7
環境監査（内部・外部）	8
リスクマネジメント.....	9
2025 年度の環境目標と計画	10
法令順守	11

代表者メッセージ・会社概要

【代表者メッセージ】

当社は、地域社会とともに歩む企業として、環境保全活動に真摯に取り組んでおります。2024 年度は、ISO14001 に基づく活動を着実に推進し、環境目標の達成に努めました。これからも全社員一丸となり、環境負荷の低減と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2021 年 5 月、「地球温暖化対策推進法」の 7 度目の改正により、国内で初めて地球温暖化対策の期限付きの目標が法律に明記されました。

改正法では、「基本理念」として 2050 年のカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量の実質ゼロ）実現が謳われており「国民、国、地方公共団体、事業者、民間団体等が密接に連携して 2050 年までに脱炭素社会を実現しなければならない」とされています。

カーボンニュートラル達成には、経済や社会の大転換が必要であり、国や地方自治体、企業活動でも様々な取り組みが動き始めています。

当社でリサイクルされた食用廃油は、カーボンニュートラルに欠かせない再生エネルギーとして、SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）や発電燃料として活用されています。経済活動や社会生活のなかで発生する食用廃油を無駄なく回収・リサイクルすることで、CO2 削減につながると考えております。

今後も、環境企業としての社会的価値を高められるよう、SDGs を推進し、地域との密接なコミュニケーションに積極的に取り組み、コンプライアンス（法令順守）を重視して、経営活動全般で地球環境への貢献を目指してまいります。

株式会社 鈴木油脂

代表取締役 鈴木康弘

【会社概要】

株式会社 鈴木油脂 本社工場（環境事業部）

所在地：神奈川県伊勢原市下糟屋東 3 丁目 18 番地

TEL：0463-94-3420 FAX：0463-92-3539

代表者：代表取締役 鈴木康弘

環境管理責任者：専務取締役 小林 弘幸

創業：1970 年 1 月 創立：1974 年 6 月

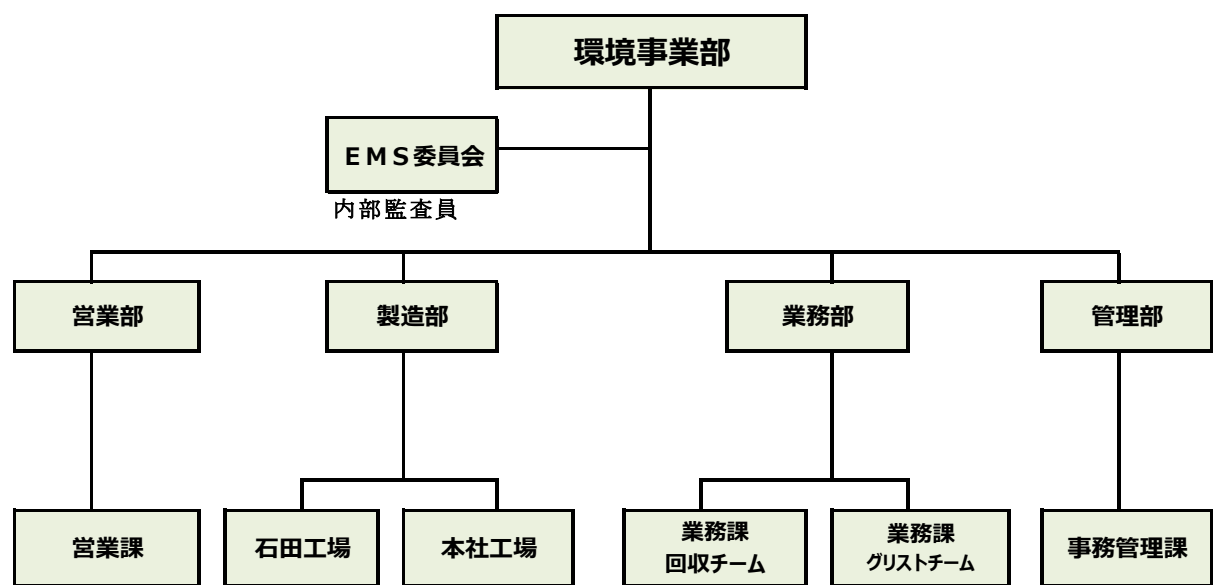
環境管理事業部従業員数：約 46 名（2025 年 6 月 1 日現在）

事業内容（環境事業部）

- （1）産業廃棄物（廃食油）収集運搬
- （2）産業廃棄物（廃食油）中間処理・再生
- （3）グリストラップ清掃

組織図 ・ ISO 認証取得

【組織図】



【ISO14001 認証取得】

初回認証取得：2009 年 4 月（石田工場）
最新維持審査：2024 年 11 月 15 日



基本理念と環境方針

【基本理念】

株式会社鈴木油脂は、食用油脂の製造販売処理に係る業務を柱に資源の有効活用と循環型社会の形成を目指し、「地域社会との共生」を経営理念とし、地球環境の保護と環境負荷の減少に向けて全社一丸となり、継続的に努力致します。

【環境方針】

当社は地球環境保全の重要性を認識し、環境負荷の低減、資源の有効活用、および環境関連法規制の遵守を通じて、持続可能な社会の実現に貢献します

(1)事業活動、製品が環境に与える影響を確実に把握し、以下の環境管理活動を実施します。

- ①業務の改善
- ②緊急事態（油流出）
- ③人材の育成

(2)SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みを実施します。

(3)環境目標を設定し、妥当性を毎年見直すとともに環境マネジメントシステムを継続的に改善し汚染の予防に努めます。

(4)環境に関する法規制及びその他の要求事項を順守します。

(5)全社員及び利害関係者が環境方針を理解し、本方針に則した活動が行えるよう推進します。

(6)この環境方針はホームページとSNS（Facebook等）で広く一般に公表します。

株式会社 鈴木油脂
代表取締役 鈴木康弘

2024 年度の環境目標

17 年度（2024 年度）環境目標一覧

No.	部門名	活動	著しい 環境側面	環境目標
1	製造部門	製造工程	業務の改善	製造量 1 k g 当たりのエネルギー使用量の削減 前年比 1%
2	事務管理 部門	事務業務	業務の改善	RPA・kintone による作業時間削減 毎月 18 時間（積上）削減 （年度末まで時給換算で DX 導入費用対効果 200%以上とする）
3	業務部門	回収業務	業務の改善	廃油回収量 前年比 101%
				1 時間あたりの回収量 前年比 105%
		清掃業務	業務の改善	年間売上 前年比 103%
				新規顧客獲得 年間 150 件
		回収業務 清掃業務	油流出事故・ クレーム発生	発生件数ゼロ
4	営業部門	営業活動	業務の改善	新規獲得による回収量 110 t
5	全部門	各部門共通	人材育成	個々の力量をアップする
			SDG s	CO2 の削減 前年比 1%

1. 2024 年度の活動実績

17 年度（2024 年度）環境目標の達成状況

※期首の目標数値は三ヶ月ごとに見直しを実施しています。

部門名	著しい環境側面	環境目標	実績	評価 ○、×	達成理由
製造部門	業務の改善	製造量 1 k g 当たりのエネルギー使用量 前年比 1% 削減	燃料使用量 28.3%増加 電気使用量 36.1%増加	×	本社工場では 9 月以降、パン粕施設やマーガリン施設の稼働が開始。石田工場ではミートミールの製造が継続しており、エネルギー使用量が 2 拠点となった事が大きな要因。
事務管理部門	業務の改善	RPA・kintone による作業時間削減 毎月 18 時間（積上）削減 （年度末まで時給換算で DX 導入費用対効果 200%以上とする）	作業時間 180.2% 削減 （導入費用対効果 274.7%）	○	顧客の増加により、業務は増えたが、『RPA・kintone 提案受付』アプリを作成し、課内の改善提案を受け付けたり、業務課から出された改善提案を情報を共有する等、A I も活用しながら日常的に業務改善に取り組めた事で大幅な削減ができた。
業務部門	業務の改善	廃油回収量 前年比 101%	前年比 100%	×	今期の総新規件数は約 500 件あった中、前半は人員不足で回収量アップにつなげられず、後半は新メンバーも増員、巻き返しを図ったが、前半のマイナス分を埋めるまでには、僅かに足りなかった。
		1 時間あたりの回収量 前年比 105%	前年比 105.8%	○	エリアごとの人員配置やコースの見直しで効率化を進める事ができた。
		年間売上 前年比 103%	前年比 104%	○	人員不足の期間もあり清掃件数の伸び悩みがあった。後半は新メンバーが増えた事で現地調査やリピート営業を手分けして取り組み売上増につなげられた。

部門名	著しい環境側面	環境目標	実績	評価 ○、×	達成理由
業務部門	業務の改善	新規顧客獲得 年間 150 件	152 件	○	人員不足の期間に年間売上の目標のみにシフトし、目標からは一旦外して活動は行わなかったが、営業課の協力もあり目標を達成することができた。
	油流出 事故	発生件数ゼロ	6 件	×	早期発見と初期対応で流出量は微量だったが、ラッシングの緩み外れによる流出が 3 件。回収先置き場のドラム、タンクの劣化による流出が 2 件。作業手順不注意による流出が 1 件。
	事故		7 件	×	作業不注意による物損事故が 5 件と怪我が 1 件、もらい事故が 1 件。
	クレーム 発生		0 件	○	顧客からや近隣からのクレームは無かった。
営業部門	業務の改善	新規獲得による 回収量 110 t	127.6 t	○	回収量アップにつなげる為、「自治体関連との新規契約」「法人営業の強化」「大口スポット案件の獲得」など優先順位を明確にして活動した事が要因。
全部門	人材育成	個々の力量を アップする	-	○	3 ヶ月に一度の個人面談を実施し、計画的に進めた。
	SDG s への 取組	CO2 の削減 前年比 1%	-	○	エネルギー使用量、給油量の削減、AI 活用による業務部門の効率化を目標に取り組んだ。全部門の目標にした事で、削減意識が高まり、エネルギー使用量が 2 拠点となった製造部以外は目標達成となった。

2. 2024 年度の主な環境活動トピック

地域貢献活動

どんど焼き商工祭り・ふれあい祭りに出店（1 月・5 月）

1 月 19 日に地元の石田地区でおこなわれた第 31 回「どんど焼き商工祭り」と 5 月 18 日に実施された地域のイベントにフライドポテト販売で出店しました。

地域の皆さん・来賓の方々・お客様にご参加いただき、笑顔あふれる素晴らしいお祭りとなりました。今後もこのようなイベントに積極的に参加し地域の皆様との絆をより一層深め、地域活性化にも貢献していきます。



環境教育活動

小学生の工場見学（8 月・2 月）

8 月と 2 月に伊勢原市と厚木市の小学生が工場見学に訪れました。廃食油が身近な場所で回収され、再利用されると知り、環境への関心が一層高まった様子でした。



3. 環境監査（内部・外部）

内部監査

2024 年 9 月 13 日

記録類と部門長及び現場でのインタビューで、目標への取り組み、法令順守、緊急事態対応、教育訓練安全対策など確認しました。



外部審査（定期維審査）

2024 年 11 月 15 日

対象事業所が石田工場から変更して初めての審査でしたが、特段の問題は見受けられず、当社の環境マネジメントシステムが ISO 14001:2015 規格の要求事項に適合し、有効に運用されていることが確認されました。

工場施設内の掲示物や、記録類について、審査人の目線でアドバイスをいただけて、学びの多い審査となりました。



4. リスクマネジメント

緊急事態対応定期テスト

2024 年 10 月 12 日

油流出・災害発生の緊急事態を想定し、年 1 回の定期テストを全社員で実施しています。

油流出事故を想定したテストは、本物の廃油を使い、

① 社外：走行中に荷台で一斗缶が落下し道路へ流出 ② 工場施設内：荷下ろし中にドラム缶が転倒し工場敷地内に流出 を想定して行われ、被害を最小限に抑える為の初期対応、関係者への事故報告、訪問先への対応等、を手順書通りに出来るかテストしました。

参加者全員がテストの気付きや改善点を提出し、次のテストに活かして行く事で改善を重ねています。



避難訓練・防災訓練

2024 年 10 月 12 日

緊急事態対応定期テストの後に実施しました。工場移転後初めての訓練の為、改めて指定避難場所と避難経路、消火設備設置場所の確認からスタートし、避難訓練後の防災訓練では消火器の使い方やゲリラ豪雨に備え、土嚢の積み方も学習しました。



5. 2025 年度の環境目標と計画

18 年度（2025 年度）環境目標一覧

No.	部門名	活動	著しい 環境側面	環境目標
1	製造部門	製造工程	業務の改善	製造量あたりのエネルギー使用量（灯油） 前年比 5%削減 (本社工場と石田工場のエネルギーを合計して対比)
2	事務管理 部門	事務業務	業務の改善	休眠顧客の掘り起こしによる廃油回収促進 年間 12 t （1 t /月）
				業務ミスによる離反客の防止 業務ミス発生件数ゼロ
3	業務部門	回収業務	業務の改善	廃油回収量 前年比 106%
		清掃業務	業務の改善	年間売上 前年比 108 %
		回収業務清 掃業務	油流出事故・ クレーム発生	発生件数ゼロ
4	営業部門	営業活動	業務の改善	新規獲得による回収量 前年比 124%
5	全部門	各部門共通	人材育成	個々の力量をアップする
			SDG s	市内教育機関への寄付を目的としたベルマーク集め 年間 5,000 点 （420 点/月）

2025 年度も基本理念と環境方針に基づき、環境負荷の低減と地域社会への貢献を目指して取り組んでまいります。

6. 法令順守

当社では、環境関連の法令・条例・協定等を遵守することを環境マネジメントシステムの重要な柱と位置づけています。

年に1回以上の頻度で、最新の法規制の把握および当社活動との適合性を確認し、必要に応じて「環境法規制等登録簿」の更新を行っています。

また、内部監査においても法令順守状況を重点的に確認し、順守状況の維持・向上に努めています。

※法令順守の確認および記録の詳細は、別紙「環境法規制等登録簿（最新版）」をご参照ください。

本報告書は、株式会社鈴木油脂 環境事業部（本社工場）の環境に関する情報を、できるだけ分かりやすく開示する事を目的に発行しています。

2024年6月1日～2025年5月31日までの環境活動実績を中心に作成しました。

2025年6月1日

会社名 : 株式会社鈴木油脂 環境事業部（本社工場）

所在地 : 〒259-1148 神奈川県伊勢原市下糟屋東 3-18

電話番号 : 0463-94-3420

FAX 番号 : 0463-92-3539

メール : jimuka@suzuki-oil.co.jp

Web サイト : <https://www.suzuki-oil.co.jp/>